



長崎県提供

## 天皇皇后両陛下がご来館されました

天皇皇后両陛下におかれましては、平成26年10月12日（日）、市内で開催された「長崎がんばらば国体」開会式ご臨席のためご来県されたおり、当館をご視察なさいました。天皇皇后両陛下は、午前10時過ぎに当館にご到着になると、常設展示室にある明珍作うこん威甲青一領やエーセルテレカラフ、ナポレオン辞書などを館職員の説明を聞きながら、ゆっくりとご覧になりました。

その後しばらくご休憩になり、当館を後にされました。

### 諫早市美術・歴史館

## 来館者1万人を突破！



今年3月1日に開館した諫早市美術・歴史館の来館者が6月1日、1万人を突破しました。

1万人目の来館者となったのは、長崎市に住む馬場和人さん・知子さん夫妻。記念として、諫早の古地図などを贈呈しました。

### 【ピックアップナビ&美歴コンシェルジュ】

QRコード読み取り機能がある携帯電話端末等をお使いの方は、下のQRコードを読み取ることで、常設展示室の資料の詳しい説明を見ることができます。



45年前の国体再び

## 「長崎国体展」



昭和44年の長崎国体の写真や記念品を紹介する「長崎国体展」が7月4日から21日まで、1階ホールで開催されました。会場では、当時の選手ら6人と県など4団体から借用した約70点を展示。天皇杯・皇后杯のレプリカや開会式で選手が着たジャケットなどが展示され、準備から大会までの記録映像も上映されました。

諫早の歴史を学ぼう

## 夏期こども講座を開催

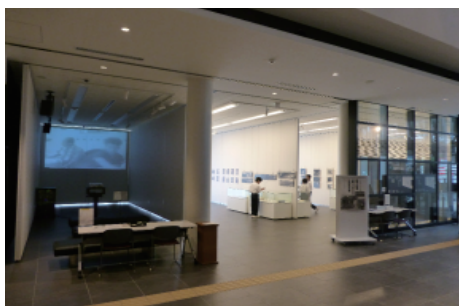


諫早市美術・歴史館主催の夏期こども講座を8月2日・10日・23日に開催しました。諫早の中世から現代までの歴史のお話や、石臼、千歯の体験学習なども行いました。



諫早大水害を忘れない

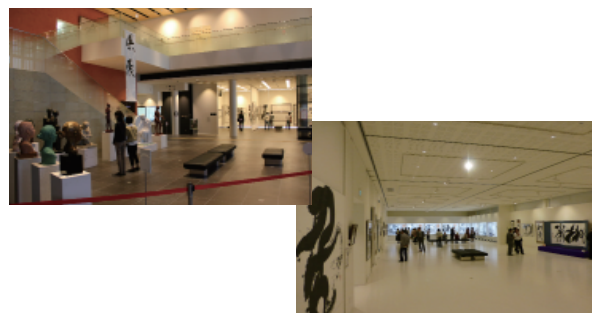
## 企画展を開催



諫早市美術・歴史館企画展「諫早の記憶 昭和32年7月25日一大水害の跡」展を7月23日から8月11日まで、1階ホールで開催しました。630人が犠牲となった諫早大水害から57年が経過した今、あらためて災害の恐ろしさを知るとともに、水害の記憶を風化させないようにと行ったものです。企画展では、市が保管している写真や映像、体験者の手記、当時の新聞記事など約150点を展示しました。

見応えのある展示が続々！

## 県展をはじめ、書展や彫刻展などが開催

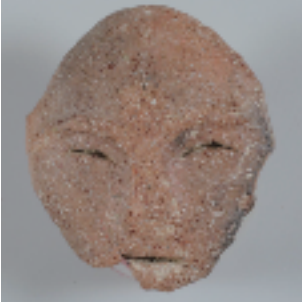


諫早市美術・歴史館は、市民作品の発表の場として、また文化芸術活動の振興を図る場として本格的な展示室を備えています。おかげさまで開館後、個人や団体など多くの皆様に展示室の利用をお申し込みいただき、これまでに、県展をはじめ、書展や彫刻展、絵画展など見応えある展覧会が続々と開催されてきました。今後も、市展をはじめ企画展や個展などが多数予定されています。ぜひ、多くの皆様のご来場をお待ちしています。

## 職場体験終了

9月3日から5日まで、明峰中学校から2人の生徒さんが職場体験に来てくれました。受付のほか、2人は眼鏡橋について学習。自分たちで写真を撮り、パソコンを使って眼鏡橋の説明パネルを作りました。出来上がったパネルは、常設展示室に展示しています。





## 働く人々 (はたらくひとびと)

油彩 キャンバス 縦 80.3 cm 横 53.0 cm 1957 (昭和 32) 年頃制作

野口弥太郎 1899 (明治 32) 年～ 1976 (昭和 51) 年

野口弥太郎は二科展や独立美術展、国際形象派展を中心に、戦後日本洋画壇で活躍したフォービズムの画家です。父・弥三は現在の諫早市小野町の出身で、弥太郎も約半年間小野小学校に通ったこともあり、その後も諫早・長崎を度々訪れ情景を描いています。

この作品は M25 号サイズの油彩画で、海辺で働く人々の姿が描かれています。弥太郎は国内外の海や港を絵の題材とすることが多く、そこに暮らす人々を共に描いた作品もあります。諫早市内の有喜や江ノ浦、長崎港や大波止、島原港、佐世保港、唐津港、呼子でも風景を描き残しています。

『働く人々』は、今年 3 月の諫早市美術・歴史館開館を祝して、画伯のご子息である野口一太郎さん (鎌倉市在住) から寄贈されたものです。現在、常設展示室に展示しています。当館では来年 3 月から約 2 か月間、野口弥太郎の作品を一堂に集めた企画展を開催する予定です。



7/28、野口一太郎さん (写真右) が、宮本市長へ寄贈





- 展示中の資料から -

だいおうじのじゅういちめんかんぜおんぼさつざそう  
**大雄寺の十一面観世音菩薩坐像**

諫早家初代龍造寺家晴公いえはるが文禄・慶長の役に際し、拝具したものと伝えられています。その後、代々諫早家の守り本尊として高城（現諫早公園）に奉安してありましたが、第8代茂行公が元文5年（1740）、大雄寺（富川町）東方に御堂を建立し奉安しました。

十一面観音の一般的な像容にあてはまり、頭に宝冠を戴き、頭上中央に阿弥陀如来げぶつの化仏、前三面に慈悲、左三面しんめに瞋怒、右三面に白牙はくが上出、後一面に暴悪大笑ぼうあくたいしやうの相が彫られています。また眉間ひやくごうに白毫をはめ、端麗なお顔をしており、天衣じやうはく、条帛、衣をまとい、右手は与願よがん印、左手には本来蓮華が挿されていたであろう水瓶を持っています。

**催し案内** (諫早市美術・歴史館が行う企画展や、貸室の主な催しを紹介します)

10月開催予定	
諫早市美術・歴史館所蔵陶磁器展 - 諫早・長崎焼物の美 - 土師野尾 現川 亀山 長与 鵬ヶ崎 瀬古 甕山	■とき : 10月13日(月)～11月4日(火) ■ところ : 2階企画展示室1・2・3 ■問い合わせ先: 美術・歴史館 (Tel 0957-24-6611)
11月開催予定	
長崎県美術協会 第13回写真部会員展	■とき : 11月12日(水)～16日(日) ■ところ : 2階企画展示室1 ■問い合わせ先: 鋤塚さん (Tel 090-4357-5685)
諫早面彫会作品展	■とき : 11月12日(水)～16日(日) ■ところ : 2階企画展示室2 ■問い合わせ先: 今里さん (Tel 0957-26-5263)
楽描会(らくがきかい) ～テイサービスセンターきらら～ 第1回作品発表会	■とき : 11月14日(金)～16日(日) ■ところ : 2階企画展示室2 ■問い合わせ先: 株式会社シングマ・ケアホーム栄田 (Tel 0957-25-5880)
MOA美術館長崎児童作品展	■とき : 11月14日(金)～16日(日) ■ところ : 2階研修室1・2・3 ■問い合わせ先: MOA長崎 (Tel 0957-25-0077)
第53回 市展(諫早市美術展覧会)	■とき : 11月20日(木)～24日(月) ■ところ : 2階企画展示室1・2・3、研修室1・2・3 ■問い合わせ先: 諫早市美術協会 (Tel 0957-22-1103)
パステラーズ・グループ展	■とき : 11月28日(金)～30日(日) ■ところ : 2階企画展示室2 ■問い合わせ先: 平野さん (Tel 0957-46-5138)
12月開催予定	
草野源一郎寄贈作品展	■とき : 12月10日(水)～27日(土) ■ところ : 2階企画展示室2・3 ■問い合わせ先: 諫早市美術・歴史館 (Tel 0957-24-6611)

諫早市美術・歴史館だより 第2号<年3回発行>  
 〒854-0014 諫早市東小路町2番33号  
 TEL: 0957-24-6611 FAX: 0957-24-6633  
 E-mail: bireki@city.isahaya.nagasaki.jp